

かなめが おか
栗ヶ丘



発行

海士町立海士中学校
住所 海士町大字海士九四四番地
TEL 08514(2)0744
E-mail ama-jhs@town.ama.shimane.jp

○年頭所感

一年生

亀谷 壮大



僕は今年三つ頑張りたいところがあります。一つ目は勉強です。勉強は、昨年分らないところがたくさんあり、ほとんどがなげやりになっていました。だから今年、分からないところは先生や友達に聞くなどして頑張ります。二つ目は部活動です。昨年までは先輩に頼りすぎたり甘えすぎたりしたので今年、二年生にもなるし、先輩を引っ張り、先輩を支えられるよう努力したいです。最後は人の話を聞くことです。昨年は話を聞いていなかったのがひどいくらい多いと自分でも感じたので今年からは寝たり、ボーッとしたりせず聞いていきたいです。これらの目標を意識して今年一年間過ごしたいです。



大田 澄仁葉

私は今年頑張りたい事は三つあります。一つ目は、テキパキすることです。昨年は部活などで、先輩や先生に言われても中々行動できなかったのが今年こそテキパキ動いて後悔のないようにしたいです。二つ目は後回しにしないことです。昨年だけでなく、今までも何回も休みに入ると宿題などをすることを面倒臭がつてすぐに後回しにしてしまうので、今年こそは休みに入ったらずきに宿題を始めて、早く終わらせスッキリしたいです。三つ目はあいさつです。昨年、学校でもあいさつは結構出来たと思いますが、地域の方々にあいさつができませんでした。あいさつは仲良くなれるかもしれないきっかけなので、今年はいきいきとあいさつをして、地域の方々との交流を深めたいです。この三つのことを頑張りを引、張れるようになりたいです。

二年生

梅田 桃実

私が今年頑張ることの一つは部活です。同級生のほとんどが大きな大会に出場しているの今年こそは私も大きな大会に出場したいです。あと、人に対しての言葉がきつくなってしまうのでできるだけきつい言い方にならないよう相手のことを考えて行動したいです。二つ目は、家庭学習です。以前から私は、家に帰ってもすぐ宿題をせざるごころしていることが多いので、宿題などは早めに終わらせるようにしたいです。定期テストや復習テストが下がってきているので、テスト期間はテレビなどの時間を減らしたいです。三つ目は授業時間のことです。集中していなかったりちゃんとノートをとっていなかったりしたときがあったので気を付けたいです。これらのことを意識し、この一年頑張っていきたいです。



駒月 友紀



僕が今年頑張ることは、勉強と部活です。部活は今年で最後になります。なので、目標としている隠岐郡総体で個人・団体で優勝、県総体で上位に入ることです。そのために、練習中からしっかりと声を出して盛り上げたり、基礎をしっかりと練習していきたいです。五月には出雲地区大会もあります。その大会でしっかりと自分たちのプレーをして隠岐郡総体につなげたいです。勉強では、今年進路を決めていく学年になります。自分でいきたい高校に進学するためにもしっかりと勉強を頑張りたいです。まずは、授業をしっかりと受け、わからないことは積極的に聞くなどしていきたいです。家庭学習においても毎日、その日に習ったことを復習したり、自学で小テストしたり毎日きちんと家庭学習に取り組みたいです。これらのことを意識して今年一年頑張りたいです。

三年生

杵築 彰輝

ぼくは、今受験生です。だからといって、勉強を計画的にしているわけではありません。これは、逃げだと思いません。今まで、嫌なことがあつたらすぐ逃げてきました。そんな自分が、本当に嫌です。それなのに、今までずっと逃げてきました。高校生になっても、逃げそうになるときは、いっばいあると思います。それなら、逃げるのは嫌だ、と言っているのなら、口だけじゃなくて本当に逃げないよう自分を変えてみたいと思います。口だけというのも今の癖だし、何もやっていないのに最初から諦めるのも嫌だし、恥ずかしいと思うからです。だからといって全部一気に直そうとしても無理だと思うので、少しずつ直していきたいと思えます。きちんと逃げないような人になって、大人になっても困らないようにするために、がんばっていききたいと思えます。



佐本 沙智

私の今年の目標は、後悔しないことと、笑顔と感謝の気持ち忘れぬことです。

一つ目の後悔しないというのは、今までたくさん後悔をしてきたからです。その中でも私が一番後悔しているのは、転校する時、友達に伝えたいことを伝えられずに引越して来てしまったことです。他にも、思っていないことを言ってしまったたり、楽な方ばかりに逃げてしまったりすることが多いです。だから、今年後は後悔のないように過ごしたいです。そして、受験生として後悔しないように頑張りたいです。二つ目の笑顔を忘れないというのは、笑顔でいれば、どんなときでも明るく前向きになれると思うからです。感謝の気持ちを忘れないというのは、今まで周りの人にたくさん支えられてきたから、これからは言葉にして伝えていきたいです。そして、将来につながるよい一年にしたいです。



いのちの作文

コンクール

昨年七月に開催された「命の大切さを学ぶ授業」を受けました。そのうち、三年生の田中ひかりさんの作品が、「いのちの大切さを学ぶ教室 島根県作文コンクール」において優秀賞を受賞しました。（優秀賞該当 県内中学校二名、高校二名）
そこで、その作文を全文掲載いたします。

○ 命の大切さを学ぶ授業を受けて

三年 田中ひかり

私は今回の命の大切さを学ぶ授業を受けて、「命って何だろう。」とあらためて考えてみました。

最近、テレビのニュースで、自殺や殺人などのことをよく耳にします。一日に一回は、どこかでそのような理不尽な理由で死んでいく人がいるんじゃないか、と思うくらいです。私は、そういったニュー

スを見るたびに、とても悲しい気持ちになります。何でも悲しいなことをしてしまうのかと、疑問に思います。そして、江角さんも言っていました。そのような死に方をする人たちが、いなくなつてほしいと思います。

私の住んでいる海士町では、そんな事件や事故は、ほとんど起こりません。だから、「自分には関係のないことだろう。」と思っていました。ですが、今の私の普段の生活をふりかえってみた時、一つ気になることがありました。それは、いつも使っている「言葉」についてのことです。

私は、普段学校にいる時、よく「死ね」「きもい」「うざい」などの言葉を聞くことがあります。私自身も、ついそういう言葉を使ってしまうことがあります。他の人も良くない言葉だと分かっているはずなのに、言ってしまうという人がほとんどだと思います。言われた人も、私が見ているから、聞き慣れているから、軽く受け流しているように思います。私は、こ

の「慣れ」というものが、一番良くないことではないかと思いました。言う、言われることに慣れてしまっていると、注意する人がいなくなつてしまいます。そして、言っている人は、「言つても大丈夫な言葉なんだ。」と勘違いして、どんどんエスカレートしていきます。こういったことが、いじめにつながっていくのだと思います。だから、私はまづ、この「慣れ」をなくしていかなければいけないと思いました。

自分から言うのは勇気がいるし、難しいことですが、勇気を出してみんなで注意しあっていきたいです。そして、いきなり悪い言葉を無くすことはできなくても、少しずつ減らしていきたいと思えます。みんなが気持ちよく生活していきたいです。

学校以外でも、家族と一緒にいる時や友達といる時などでも言葉使いには気をつけていきたいと思えます。毎日使う言葉を大切にして、命を大切にすることにつながっていきます。今回の命の大切さを学ぶ授

業で、命について色々なことを考えることができました。なかなかできない経験ができたと思えます。今まであまり深く考えたことがなかったのに、とてもいい機会になりました。今回学んだことを忘れずに、自分の命、周りの人の命を大切にしていきたいです。



今年度、平成二十五年度も残すところ、一ヶ月と二十日程度となりました。三年生は、受験を控え、少しずつ緊張が高まる頃と思えます。一、二年生においては、学年の締めくくりをしていく時期になります。このまとめの時期に教職員一同、子どもたちの成長のため頑張りたいと思えますので、よろしくお願い致します。

